

「家がいいね」 第23号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2006.4.3

まもなく、開院して4年が過ぎ、5年目に入ります。5年が何かをなす場合のひと区切りと考えてきましたので、ようやく形が見えてくる年なのかもしれません。今年には花の春も一気です。

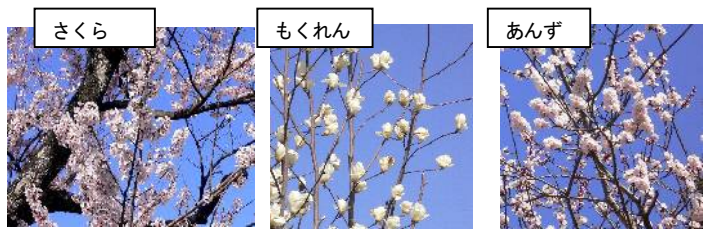
今を生きる事の大切さ

外来では心療内科もしていますが、自分にとって大切なのは、在宅患者さんの人生に最後まで付き合うことだと決めています。ひとつを選びなさいという時は、外来は辞めてもいいと考えます。見送った多くの人は、この胸の中に生き続けているような気がします。「死ぬ間際に立ち会うことは大変なつらいことでは」と訊かれますが、嬉しいような気さえするのです。「死ぬ事が決まっている人」ではなく、ただ「私より一足、先に行く人」として、その毎日の想いを聴いていると、物事を成就させる心意気を感じます。遠い将来の不安を消し、過ぎた過去を赦しの中に納めれば、この今がもっと光を増すよ、と教えられます。

「悟りといふ事は、如何なる場合にも、平気で死ぬることかと思つて居たのは間違いで、悟りといふ事は如何なる場合でも、平気で生きて居ることであつた」正岡子規 病床六尺から

4月からの医療制度改定で変わる事

私の求めて来た方向の一部が、「在宅療養支援診療所」という制度になります。在宅は24時間相談できること・相互信頼を育てることが基本です。医師よりも訪問看護師の活動がさらに中心になるでしょう。他の一般診療所に比べてみると、医療費の負担は増すことになるでしょうが、これから本当に必要なものが継続するように、ご理解をお願い申し上げます。詳しくは在宅パンフにて。



大型連休の外来お知らせ

4月28日(金) まで通常
 4月29日(土) 祝日休診
 4月30日(日) 日曜休診
 5月1日(月) 通常開院
 5月2日(火) 通常開院
 5月3日(水) 祝日休診
 5月4日(木) 祝日休診
 5月5日(金) 祝日 ↓土曜の代替開院
 5月6日(土) お木曳き参加のため臨時休診
 5月7日(日) 日曜休診
 5月8日(月) から通常

在宅患者さんの緊急対応はこの期間も致します。(この時期、新規のご紹介には対応出来ません)



では、助けた命だから奪つてもいいの

人間はなんて命をもてあそぶことが好きなのかと自然界の動物に言われそうです。それは大量の死を当然視する戦争の話ではなく、呼吸器はずしが問題になっている市民病院の話です。安楽死・尊厳死・延命医療・慈悲殺人と言葉が溢れかえり、責任も混沌としています。私は医師が、他人の人生とその命の前にもっと謙虚であれば、話の次元が変わってくると思えます。生きてゆくということとは、絶えず揺らぎの中にあることで、事前に本人の医療指示があつたとしても、今の悩みを分かち合つて選択をしなければなりません。

簡単に呼吸器を付けて「生きよう」と言い、次は「生きるのは大変でしょう」と呼吸器を外す、こんな考え方は緩和ケアとは最も遠い立場のものだと思えます。違いはお分かりでしょうか？



自宅での人生を 最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御薗町 高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp

HP <http://tcp-ip.or.jp/~takuro>